



揮毫 伊藤茂男氏

鎌田地区
平成28年7月1日現在
世帯数 8,696 戸
男 9,864 人
女 9,508 人
発行者 鎌田地区公民館
公民館編集委員会

信明中学校 地域出前講座

信明中学校では信州型コミュニケーションスクールの一環で、地域の方を講師に工作や詩吟、料理やスポーツ吹矢など様々な学習を行っています。

●竹笛作り、初体験!!●



信明中学校 3年 潤一 伊藤

1年でパソコン、2年では水墨画を学び、僕は今年ので地域出前講座で(5月30日)竹笛作りを体験させて頂きました。

今までに、竹笛を作ったことはもちろん、竹を加工するということにも馴染みがなかったのが、不安でしたが同時に、自分の今までのしたことのない経験ができるということでも、とても楽しみでもありました。工程自体は意外と難しくなく、思っていたよりも簡単に作る事ができました。笛の角度を変え、音が出るように調節をしていく作業では、微妙な違いでずれてしまうので大変でしたが、講師の先生方が1人ひとりの机を回り丁寧に指導くださり、カッコウ、ウ

グイスなど鳥の音色の出せる竹笛を作ることができました。

他にも詩吟や料理、ダンスや小物作り、スポーツと、興味深い講座があり、いつも楽しみにしています。地域の皆さん、ありがとうございました。来年も楽しい講座をよろしくお願ひいたします。

●マスキングテープを使って小物づくり



信明中学校 2年 裕希 西川

7月5日に、地域出前講座が行われました。私は「マスキングテープを使って小物づくり」という講座を受けさせていただきました。

今回この講座では、絵葉書等を飾るたてを、画用紙でつくり、マスキングテープで飾りつけをしました。まず、ワイシャツの形になるように画用紙を折り、「袖」や「裾」の

熊本への義援金 鎌田地区として80万円寄付

鎌田地区町会連合会総会時に熊本への義援金寄付の臨時提案を受け、16町会長の賛同の下、1軒約100円目安に寄付金を募りました。各町会皆様からの善意の寄付金が80万円集まり、6月7日連合会三役と社協鎌田支会長の4名で熊本地震災害復興に役立ててくださいと坪田副市長に預けました。副市長からは鎌田地区町会連合会の取り組みに対し感謝の言葉をいただきました。各町会の皆様、ご協力誠にありがとうございました。町会連合会長 松本 捷幸

部分などにマスキングテープをはって、自分の好みに合った少しお洒落な作品を作ることができました。普段はプレゼントの包装などに使うマスキングテープを使うと、手軽に素敵なオブジェができて嬉しかったです。ぜひ、葉書や写真を飾りたいと思います。

第59回 鎌田地区球技大会

7月10日(日)、鎌田地区体育協会(宮澤文夫会長)主催により、第59回鎌田地区球技大会が行われた。天候にも恵まれ、熱戦が繰りひろげられ、全競技が無事終了しました。

第59回 鎌田地区球技大会成績

| 種目 | 優勝 | 準優勝 | 3位 | |
|---------|------|-----|-----|-----|
| 野球 | 井川中 | 両島 | 高宮 | 征矢野 |
| 卓球 | 鎌田 | 南原 | 両島 | - |
| ソフトバレー | シルバー | 石芝 | 両島 | 高宮 |
| | ブロンズ | 南原 | 征矢野 | 高宮 |
| ゲートボール | 両島 | - | - | - |
| マレットゴルフ | 男性 | 両島 | 五月町 | 南原 |
| | 女性 | 月見町 | 五月町 | 南原 |
| 総合 | 両島 | 両島 | 南原 | - |

全市的な活動としては栄養指



現在、鎌田地区には15名会員があり、忙しいながらも協力し合い、楽しく仲良く活動しています。福祉ひろば(ほかほかひろば)でのおやつ作りや、公民館講座で住民との行事食づくりなどを行っています。また、最近では児童センターや小中学校からの依頼もあり、子どもたちと楽しく行事食や伝統食を作るようになりまし

食改さんって何?

食改さん 食生活改善推進員 食改さんの呼び名です。市などが開催する養成教室の修了者で食のボランティアとして活動しています。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、会員自身の知識を高め、家族、そしてご近所へと働きかけています。

また、鎌田地区公民館の調理室が改築され、とても使いやすくなりました。皆さん大いに利用しましょう。

食生活改善推進員 上条公学

支那駐屯記

笹部町会 小林 茂喜

昭和14年4月、21歳の私は第二師団野砲兵第二連隊の一員として新潟港から武漢三鎮と呼ばれた支那の中央部へ向かった。

乗ったのは貨物船を改造した5千トン級の船で乗り心地は良くなかった。東支那海を航行し上海に近づくと海水の色が変わってきた。船員によると揚子江によって運ばれた土砂が混じっているためだとのことだった。船はそのまま揚子江に入り、遡上していく。5千トンの船が航行できる大河に支那大陸の巨大さを実感した。

上流に行くにつれて川幅が狭くなり、あたり一面黄色の菜の花畑や、大きな角の水牛を連れてのんびりと歩く農夫などが見え、とても戦地とは思えない情景だったが、「鎌田地区からも幾人かの戦死者が出ている。平和に見えてもここは戦地だ、状況はいつでも急変する。」と先輩に戒められた。甲板にいると時折兩岸から銃撃を受けるが、ピューンと来るのは遠く、パチツと来るのは近くて危ないことなども教えられた。

戦争体験

新潟を出港してから11日目の早朝、三鎮の一つの武昌に上陸、時折銃声が聞こえる中、重装備の警護部隊が出迎えてくれた。すでに大規模な激しい戦闘は終結し、蒋介石軍の本隊は重慶方面へ撤退していたが、一部

がゲリラ化して周辺の集落に潜んで抵抗を続け、住民を襲って食料や衣服などを略奪する事例も頻発しており、それまで駐留していた部隊と交代して漢口・漢陽・武昌の三都市とその周辺の治安を守るのが我が部隊の任務だった。ゲリラとの戦闘を続けるうちに、我々日本兵と現地住民の双方にゲリラを共通の敵とする、連帯感のような友情のような感情が芽生え、「何としても住民を守ってやらなければ」と思うようになっていた。これは今思い出しても不思議な感情だった。

昭和16年1月、初年兵教育要員として江西省の第三大隊へ派遣を命ぜられ、漢口の街を去ることになった。

限られた紙面では長い戦争体験を語り尽くすことはできないので、初めて行った戦地のことを記憶をたどりながら書いてみた。

あれから80年近くが経ち時代も変わったが、「顔も名前も知らず、何の恨みもない人間どうしが命を奪い合うのが戦争」であることに変わりはない。了



出征の際に贈られた日の丸の寄せ書き

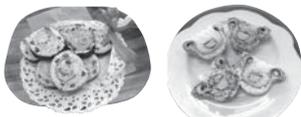
(注) 支那は現在の中華人民共和国のこと

親子で作ろう！飾り巻き寿司

6月25日(土)、子育て中の親子14組30名の方と、初めての飾り巻き寿司「薔薇(ばら)」「カエル」の2本に挑戦しました。

最初は難しそう、できるかな、と不安そうでしたが、講師の草間さんのわかりやすく、工作のような説明に、みんな巻く気マンマン。

さあ、切ってみましょう。(ドキドキ) うわあ、きれい！ステキ！可愛い！個性的な顔！あちこちで歓声が上がリ大成功でした。



「楽しかった。家でも作りたい」とお父さん。「思ったより上手にできて良かった。見た目は難しそうでも簡単に作れた。他のこともやってみたい」等々の感想でした。子育て中のお母さんの支援になれば、と計画しましたが、公民館に集って「何か」をする、楽しむ、学ぶ、仲間作りになる、というサークル作りのきっかけになり、できればサークルが生まれ、継続していくことを願っています。

主任児童委員 野澤賀代子



雑感

最近、ポピュリズム(大衆迎合主義)という言葉が耳にすする。社会の特定の階層や組織を敵視し、響きの良い言葉で、現状に不満を持つ人々の共感を集めることを言う。

読売新聞のコラム記事で、どこかの大統領候補といわず、どこかの国民投票といわず、「協調」よりも「自尊」に走りがちなの時世であると世評を伝えている。

今年度から、鎌田地区公民館報の編集委員長を受けることとなった。もとより力不足は承知の上だが、「館報は住民の声の広場であり、地区の情報発信誌」「編集者は地区のメッセンジャー」であることを忘れずにこの任にあたりていきたい。

くれぐれも「自尊」に陥ることなく、編集委員の方々と話題を共有し、共通認識のもと館報の編集を進めたいと思っている。

取材では、相手の思いや本音を大切に伝えられる記事にしたい。

写真や絵を多く使い、普段使っている言葉で表現するなど、読みやすい館報にしたいと思う。(編集委員長 松川靖彦)